



嬉しい!楽しい!夏祭り!!

楽しみにしていた夏祭りを8月に開催しました。飾りつけは1カ月前から準備をし、当日は職員の子供たちもお手伝いに来たことで、より縁日の雰囲気の中で楽しむことができたのではないのでしょうか。皆さん魚釣りゲームや、ヨーヨーすくい、射的のブースを周りながら点数を競って楽しんでいました。お昼ご飯はたこ焼き、塩焼きそば、フランクフルトなどの特別メニューを笑顔で美味しそうに召し上がっていました。(大野)



リズム良く叩いています



ハッピを着て気分が上がっています



狙いを定めて慎重に



真剣な様子が伝わってきます



上手に釣れました



表彰されてご満悦



落とさないようゆっくりと



終日たくさんの笑顔が見られました



夏祭りの屋台をイメージ

アクロバットなショーに大興奮！（ワールドドリームサーカス愛媛公演招待）

ドリームサーカス株式会社様よりご招待を受け、東温市見奈良のレスパスシティで行われたサーカスに5日間に分かれて行きました。ジャグリングや火を使ったショー、オートバイのショーなど次々と迫力満点のショーが続き、前のめりの姿勢で興味を持って見られていました。大車輪と空中ブランコの時もダイナミックな動きが楽しかったようで、度々職員の手を引っ張っては「あれ見て」と指をさして、目をキラキラとさせていました。また、オートバイのショーで大きな球体の柵が出てきた時には、興味津々の様子でした。（仲田）



意外と簡単？ピザ焼き体験

ラ・ルーチェのピザ焼き体験に行ってきました。生地を伸ばした後にトマトソースを塗り、トッピングをしました。生地の形にそれぞれの個性があふれており、楕円形やひし形など、味のある形に仕上げています。トッピングでは、全体にまんべんなく盛り付ける方や四隅に盛る方など、焼き上がると同じものが2枚とない特別なピザが出来ました。おしゃれな音楽と、綺麗なグラスに入った飲み物を飲みながら、出来立てのピザを食べました。ゆったりとした時間を過ごす事ができて、大満足した様子でした。（大野）



海に見えるカフェでのんびりと

障害者支援施設・北条育成園の中にあるカフェランチを食べに行きました。途中、立岩海岸に立ち寄り、海辺を歩いたり公園でバッタを捕まえたりしていると段々とお腹が空いてきたのが「早くお昼を食べたい」とのことで早速目的地に向かいました。高台にあるカフェの窓からは瀬戸内海や北条方面が一望できて、しばらくの間絶景を眺めて癒されていました。メニューは好きなものを注文し、デザートやドリンクもセットで付いており豪華な食事を頂くことができ嬉しそうでした。次の外出の機会が待ち遠しい様子です。（大政）



職場体験の中学生と交流しました

今年も内宮中学校から職場体験に来て頂きました。初日に創作活動でミノムシの制作を一緒に行ったことがきっかけで、生徒さんとの距離が縮まった様子でした。利用者さん自ら積極的に挨拶をしたり、質問をしたり等、生徒さんとの関わりを楽しんでいました。（早川）



月に一度のお楽しみ♪ヤクルト販売

月に1度、ヤクルト販売の方に来て頂いております。利用者の皆さんも「久しぶり!」「げんき?」とおしゃべりも楽しんでいます。新しい商品には「これはなに?」「どんな味?」と気兼ねなく相談もできます。今後も続けて、心も体も健康に気をつけていきたいと思えます。(大野)



ふるさと大学に初めて参加しました!

堀江公民館で行われている地域の方を対象とした「ふるさと大学」に今年度から参加しています。第1回(7月12日)の入学式・開校式&レクリエーション(モルック体験)では、温かい応援を受けながらフィンランド地方発祥の競技を楽しみました。ピンが倒れる度に拍手が起こり笑顔になっていました。第2回(8月9日)は5名が参加し、噺家の小辰さんと中学2年生のお弟子さんによる「動物園・時そば・寿限無・親の顔」の落語に親しみました。動物園の演目では滑稽な場面で笑ったり、時そばで、そばをすする演技に見入ったりして楽しい時間となっていました。第3回(9月6日)の7名参加したヨガ体験では、円になり、地域の方と顔を合わせ、猫のポーズをしたり、ゆっくり深呼吸したりして、身体のストレッチをしました。講師の方の優しい声かけにリラックスした表情をしている様子でした。今後「お肌の基礎知識」「防災の備え」「音楽のタベ」などの教室に参加して地域の方と交流することを楽しんでいきたいと思えます。(宮本)



も・あーと展に向けて

「福をまねこう」と皆で楽しい作品を作っています。立体作品、平面作品、半平面作品にチャレンジ。画材も色々な物に触れてみています。可能性を広げることも大事ですが、“誰かに見せよう”と張り切る利用者さんもおられ、制作中は真剣です。触感を楽しみながら作る工程もありましたので、新鮮だったのではないかと思います。これからも可能性を追求し続ける創作であるように努めてまいります。MORE の中はアートで満たされ始めました。賑やかになりつつあります。ぜひ見に来てください。(木口)



障がい者アート展のお知らせ

「笑顔ひろがるえひめの障がい者アート展」が11月30日~12月10日まで愛媛県美術館で行われます。そこでMOREからも団体作品と個人作品を制作し応募させてもらうことにしました。コロナ禍もあり、なかなか進んでこなかった“自身を表現する機会”として、少しでも利用者さんが備え持つ可能性や感性を表現できたらいいなと思えます。(木口)





お母さんの職場を見学しよう(MORE キッズ交流会)



夏休み期間中に職場見学会を開催しました。初めは緊張していた様子のお子さんたちもお手伝いをしながら活動に参加し、楽しいひと時を過ごすことができましたようです。ダンスやトランペットの演奏を披露して頂き利用者さんも大喜びでした。以下は保護者の職員からお礼のメッセージです。

前日までは「お母さんの職場に行くの楽しみ！」と待ち遠しい様子でしたが、利用者さんや職員に話しかけられると想像以上に緊張していました。朝の会で挨拶すると緊張もややほぐれたようで、ちょうど夏祭りの日だったこともあり、利用者さんとヨーヨー釣りや魚釣りを一緒に楽しみ、ダンスも利用者さんの前で披露させて頂き、有意義な一日を過ごせました。長男に感想を聞くと「みんな普通」の一言でした。「色んな人が居たね」と話しても「普通」と笑って答えていました。車いすの方・自閉症の方…様々な方が一緒に過ごしている。それって「普通」のことなんだなと、改めて感じることの出来た一日でした。(中平)

「お母さんの仕事は何なの？」これは我が家でよく口に出される質問です。「自分でうまく考えがまとまらない人、上手に口で気持ちを伝えられない人の気持ちを一緒に考える仕事。一人でご飯やトイレが出来ない人のお手伝いをする仕事」と説明をします。今回、中1の娘と小1の息子が参加しました。”何かを手伝おう””色々話をしてみよう”と自ら動いていた場面もあり、この体験は貴重なものになったようです。娘のレポートには「お母さんは家でも職場でも声がかかった」とあり、息子の絵日記には「お母さんはガサガサずっと動いている。家でも変わらない」と何とも言えない感想を書いていました。「足を使わなくても入れるお風呂があった」「車椅子のまま乗れる車があった」と多彩に書かれており、最後は「皆と握手できて、話が出来て良かった」とちょっと成長した文章で締めくくられました。ありがたい体験でした。(木口)

今後の予定

10月15日 福角会祭

12月 5日 忘年会

11月中 も・あーと展月間

12月25日 クリスマス会(当初の日程より変更しました)



伊予銀行松山北支店 支店長 石田文生様より 7月1日の豪雨災害のお見舞金を頂きました。施設は浸水しましたが、怪我人もなく無事復旧いたしました。今後は更なる防災意識の向上に努めたいと存じます。ご厚情賜り、心よりお礼申し上げます。

編集後記：外出活動が増えて利用者さんのいきいきとした表情を毎回間近で見られて私自身も嬉しく思います。今後も継続して利用者さんの要望に応じて出かけていきたいと思ひます。(大政)